

STATAによる計量データ分析の基礎

日時: 3月10日(月)~3月11日(火) 10:00~17:15
場所: 東京大学(本郷)赤門総合研究棟2階 教育学部200番教室
料金: 一般 6,000円、学生 3,000円

講師: 筒井淳也(立命館大学)
秋吉美都(専修大学)
水落正明(三重大学)

テキスト: 『STATAで計量経済学入門』ミネルヴァ書房。
*必ず購入しなければならないわけではありませんが、購入を推奨いたします

本コースの内容

統計ソフトSTATAを用いた初級~中級レベルの講義です。日本語ではじめての本格的なSTATAテキストの執筆陣によって、STATAの操作方法から汎用性の高い個別手法にいたるまで、具体的な解説がなされます。統計的な基本知識、ソフトの操作、実質的研究での応用事例を、バランスよく学ぶことができます。

このような方におすすめです

- ・STATAのプログラミングなど、使用方法をマスターしたい
- ・基本的な分析法は習得したので、次のステップに進みたい
- ・データ解析の実践の場で活かせるテクニックを身につけたい

注意事項

マシン実習はありません(講師によるSTATA操作のデモのみです)
本コースには、所属機関などによる受講者制限はありません

本コースの日程

10日 「イントロダクション」、「記述統計」(筒井淳也)、「回帰分析基礎編」(秋吉美都)
イントロダクション

Stataを利用したデータの扱い方を基礎から説明します。データファイルの開き方・保存法・変換法、アップデート、ログの取り方からはじめて、変数操作(作成・ラベル貼り・ソート・加工など)、ごく簡単なプログラム方法までを解説します。

記述統計

基本統計量の出力、クロス表のバリエーション、グラフ出力などの記述のためのコマンドから、t検定、カイ二乗検定などの簡単な検定のコマンドを説明します。

回帰分析基礎編

OLS回帰分析の基本的な考え方と、基本コマンド、結果の解釈を中心に扱います。OLS回帰分析の経験が無い人、あるいは少ない人向けの内容です。

11日 「回帰分析応用編」(秋吉美都)、カテゴリカルデータ分析(水落正明)

回帰分析応用編

OLS回帰分析の推計後の診断のためのコマンドの説明を、実際のデータを使って行います。基本コマンドに加えてダミー変数、交互作用項を使った回帰分析、残差分析、多重共線性の診断などもカバーします。

カテゴリカルデータ分析

個票分析などで頻りに用いられるカテゴリカルデータの分析方法について解説します。プロビット、ロジット、多項ロジット、順序プロビット、ネスティッドロジットなどいくつかの代表的なモデルを扱います。